

「前之浜小学校の前之浜のチョイのチョイ踊り伝承活動の取組」

1 学校名

鹿児島市立前之浜小学校

2 学年・人数

3・4・5・6学年（計23人）

3 日時・場所

(1) 練習の日時・場所

令和元年6月～9月 総合的学習の時間(本校体育館・運動場)

令和元年10月11日(金) ふるさと芸能祭りハーサル(運動場)

(2) 発表の日時・場所

令和元年9月29日(日) 小学校・校区合同運動会

令和元年10月12日(土)鹿児島市ふるさと芸能祭

4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能、伝統行事について

(1) 名称

前之浜のチョイのチョイ踊り(まえのはまのちょいのちょいおどり)

(2) 由来

伝承によると200年もの間、門外不出で前之浜地区に伝えられているとされている。元々は男子のみで踊られていた。戦の際になかなか敵城を落とせないため、化粧をして女性に化け、敵を油断させて攻めたという故事に由来するという説もあるが、定かではない。扇子と刀を持って戦闘の様子を再現するが、地元では慶事の際に踊られてきた伝統がある。

(3) 構成等

鉦を持ち鬼面を被った二人に先導された踊り子が鉦を鳴らしながら巖かに入場する。踊り子の前歌に続き、年長者の踊り歌に合わせ、刀を勢いよく振りかぶり扇をパット開くのが前之浜校区に二百数十年前から伝わる郷土芸能「チョイのチョイ踊り」の特徴である。優雅にして勇壮な踊りと表される。

5 保存会や地域との連携の具体

昔は前之浜の川上集落に伝わるものだったが、時代の流れとともに前之浜全体で踊られるようになり、現在はチョイのチョイ踊り保存会が中心になって、地域の伝統芸能を守っている。保存会の指導に当って「個性あふれる学校づくり推進事業」を活用し、講師の負担軽減と伝承活動の持続に心がけている。

6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

前之浜小学校では、3・4年生が総合的な学習の時間に郷土への愛情や誇りを持ち、そのよさを守り伝え、その発展に主体的に貢献しようとする態度を育むために郷土芸能「チョイのチョイ踊り」を学んでいる。

保存会の方を講師に、歴史について調べ、実際に踊りを教わる。保存会の方々の熱い指導もあって、子どもたちはみるみる上達していく。そして、運動会で新しく踊りをマスターした3・4年生と5・6年生全員で華麗に舞う。「喜入地域文化祭」など様々な機会に踊りを披露し、地域の大切な郷土芸能の伝承に貢献している。

7 取組の様子（練習状況、発表の場等）



運動会に向けての練習風景

ふるさと芸能祭での発表

8 参加児童生徒・保護者・保存会・教員等の感想・意見

（児童生徒）

「チョイのチョイ踊りは難しいと聞いたけど、できるかな。」

ぼくは、2時間目から緊張していた。3時間目に初めての練習がついに始まった。地域の方が何人か来て下さって、最初は、基本の練習をした。弓や刀で切るところは、侍を想像しながらやると楽しくできた。最後に地域の方々にお手本のを見せていただいた。回るところがとてもきれいだった。いっぱい練習して早く覚えたい。

「刀が一番最初に来るんだよ。」

と優しく教えてくれたのは、何とチョイのチョイの人でした。今日は初めての練習で勇気いっぱいでした。四人の方々から様々なことを教えてもらいました。丁寧に教えてくれたので、大体ですが一番は踊れるようになりました。けれど、細かいことは、できていません。一週間に1回しかないけど、覚えていくしかありません。教えて下さる方々のためにこれからもがんばりたいです。

（保存会）

今年は、例年と違い、一つ学年が下の3年生から教える事になり、覚えられる(踊れる)かどうか少し心配したが、厳しい暑さの中で毎回2時間の練習に、1人も休まないでよく頑張ったと思う。また、上級生はリーダーシップを発揮し、下級生に積極的に指導する(教える・手本を示す)姿も見られ頼もしく感じた。

運動会当日は、一際声も出ていて、素晴らしい演技を披露してくれた。これからも子どもたちは、この踊りを確実に伝承して行ってほしい。